

**学術講演会** (寄稿)**訪問診療の現状と課題**

旧病院名：はえばる北クリニック

新病院名：首里 千樹の杜クリニック

安里 千文



訪問診療は、医療設備の整っていない環境で診療を行うこと、24時間の対応が期待されること、家族や介護職員等コメディカルスタッフとの連携が重要とされること等から、トライすることをためらわれる部門であります。しかし、病院で行われた積極的な治療が実際の生活や加齢とともに生じる変化のなかで、どのように反映されているか、身をもって感じることのできる意義のある診療でもあります。

訪問診療の方法はその病院や診療所が持っている医療資源に応じて様々な形で提供されてしかるべきと思います。当クリニックは医師2名（内科医が主に訪問診療を担当）の在籍する在宅支援診療所です。以下スライドで提供する情報もこの規模の診療所が行っている状態とご理解ください。

スライド1：診療の開始は患者様の情報収集から始まります。患者様に関する前担当医・家族・経済状況等の情報を収集します。スライド2～4：在宅における診療行為は多岐にわたります。比較的好く行われるものを提示しました。ご参照ください。スライド5～6：当クリニックでの訪問患者数は月に30～40名おり、高齢者が主です。基礎疾患だけではなく、高齢者特有の問題が起こりやすく、全身的な観察眼が必要とされます。去年は11件の看取りを経験いたしました。予想通りのプロセスで死亡に至ったケースもあれば、予想と違う場合もあるため、患者様及びキーパーソン・介護を担当する職員への細やかな説明が必要とされます。このすべてを医師が行う必要はありませんが、一緒に診療に参加するスタッフの育成が必要とされます。

今回、訪問診療を行っていくうえで困難を感じる点を5項目挙げてみました。スライド7～13：治療や終末期の方針を立てる上で、本人の意思確認ができないことや、キーパーソンが不在であることはスムーズな診療を阻害します。また総合病院等の前医との連携も非常に重要となります。スライド14～15：また、医療提供側の環境づくりはいつも後回しになりがちです。自身の生活環境を健全に保ち、自身を大切にするための時間を確保したいところです。私は沖縄に根差して生活しておりますが、実家が県外にありますので、学会以外にもプライベートな用事で県外に行く必要がでてくる場合があります。バックアップいただく諸先生には感謝に絶えません。最後にスライド16～17に診療地域の範囲に関する問題を提示させていただきました。地域が集約されるほうがより多くの患者様を訪問することができ検査が必要な際も効率よく移動することができます。中心となってコーディネートする部門があればと期待してやまないところです。

**訪問診療の仕事 1**

## ▶ 診療契約前の情報収集

家族・ケアマネジャー  
入院時の主治医・看護師  
司法書士

スライド1

### 訪問診療の仕事 2

- ▶ 診察・検査・処方
- ▶ 処置
- ▶ 看取り

スライド 2

### 2018年の診療状況

- ▶ 訪問診療回数 (週に4日間、午後診療)  
980回/年 (82回/月 5-6回/日)
- ▶ 看取り件数 11件/年
- ▶ 他病院への看取り依頼 1件/年
- ▶ 深夜往診 3回/年 休日往診 4回/年
- ▶ 緊急往診 2回/年

スライド 6

### 処置

- ▶ チューブ類の交換 (経鼻・胃瘻・  
経尿道 カテーテル・膀胱瘻)
- ▶ 気管切開後のカニューレの交換
- ▶ 点滴
- ▶ 褥瘡処置

スライド 3

### 訪問診療で困ること 1-1

- ▶ 治療の選択に対する本人や家族の  
希望が明確にならない場合が多い

スライド 7

### 治療

- ▶ 在宅酸素療法
- ▶ CPAP
- ▶ 在宅自己導尿
- ▶ 在宅自己注射

スライド 4

### 訪問診療で困ること 1-2

- ▶ 自分だけなら希望しない医療行為、  
でもしない選択ができない。
- ▶ 死なないでほしい、という家族の  
気持ち。
- ▶ 医療行為とケアの違いがわからない。

スライド 8

### 2018年12月の訪問診療患者

- ▶ 平均年齢 83.4 歳
- ▶ 男性 12 人
- ▶ 女性 26 人
- ▶ 合計 38 人

スライド 5

### 訪問診療で困ること 1-3

- ▶ とともに過ごすことで患者の加齢を  
肌で感じる。家族の持っている  
終末期のイメージをつかむと  
その後の方向性が見えてくる。

スライド 9

### 訪問診療で困ること 2-1

- ▶ 総合病院の担当医師との認識の違い。
- ▶ 高齢なんだから、寝たきりなんだからもう何もすることは無いといわれて退院。
- ▶ 家族が理解できていない。
- ▶ 医師に対する不信感。
- ▶ 次回入院の選択肢が狭くなる。

スライド 10

### 訪問診療で困ること 4-1

- ▶ 県外出張時、県内でも遠方に移動しているときの対応  
特に死亡時の対応。

スライド 14

### 訪問診療で困ること 2-2

入院中の主治医の先生にお願い!

治療は在宅の先生に引き継ぎます。  
 自宅または施設に帰ってみて、担当の先生と相談してください。必要があれば在宅の先生と入院を検討しますからね。  
と言っていたらとその後がスムーズになりますが・・・いかがでしょうか?

スライド 11

### 訪問診療で困ること 4-2

事前に連携病院に連絡。  
 死亡時のみ対応をお願いしている。  
 クリニック看護師が医師の送迎をしている。

スライド 15

### 訪問診療で困ること 3-1

- ▶ キーパーソンがいない!!!  
 縁者が死亡している  
 離婚した  
 仲が悪い 等々

スライド 12

### 訪問診療で困ること 5-1

- ▶ 南部は広い
- ▶ 現在の当クリニックで診療に伺っている地域  
 那覇市・南風原町・八重瀬町  
 西原町・与那原町

スライド 16

### 訪問診療で困ること 3-2

- ▶ 皆さんはどうされていますか?

スライド 13

### 訪問診療で困ること 5-2

- ▶ 地域がまとまっていると、より多くの診療が行いやすいです。
- ▶ コーディネーターがいると助かります。

スライド 17